



保母事務局長（右）に回答書を手渡す島田次長＝6日、島根県庁

## 原子力災害 広域避難計画

# 県が公開質問状に回答

## 県民連絡会「知事の思い一切ない」

県は6日、島根原発・エネルギー問題県民連絡会（北川泉代表世話人）が5月2日付けで県に提出していた、原子力災害に関する県広域避難計画への公開質問状に回答した。会のメンバーは回答に対し、「知事の思いが一切ない」などとして、納得できない考えを示している。

同日、県庁で、島田

範明防災部次長が保母事務局長に回答書を手渡した。質問は、福島第一原発で発生した事故から知

事がどのような教訓を得ているかなど項目。県はこれに対し、避難先をあらかじめ定めず、最寄りの施設に避難者が集中したり、事故の状況や避難指示などの情報が関係機関に正確に伝わらなかったことなど、事故発生後に認められた問題点を挙げ、国が策定した原

子力災害対策指針に基づいて対応していくなど回答した。回答を受け会のメンバーは、「知事として、どのような教訓を得たのか質問しているの、心外」、「国の答えをもってきただけのコピー」、「国との意見調整を重視し、県民の考えを聞いていない」など批判した。

保母事務局長は、「避難問題に関しては、今回の回答では全く解決しなかった。今後、回答を精査した上で、課題となっている使用済

み燃料や安全性などについて、再質問したい」と話している。

同会は松江市にも同様の質問を行っており、7日に回答を受け